

公益社団法人日本ホッケー協会  
平成29年度第6回理事会（臨時）議事録

- I. 日 時 平成30年1月20日（土）午後1時～3時55分  
II. 場 所 岸記念体育会館5階会議室504・505  
III. 出席者 代表理事 中曽根弘文  
理事 内藤貴詞・喜久生明男・中村康夫・寺本祐治  
安西浩哉・真喜代司・瀧上正志・宮野正喜・中村真理  
千野雅人・馬場治男・伊吹洋二・長田和雄・遠藤博行  
監事 田中 誠

IV. 審議事項

- (1) 平成30年度登録規程について
- (2) 倫理規程改定について
- (3) 2018年度SOMPO CUPの事業計画案について
- (4) 2019年度のFIHから要請されている8ヶ国大会開催について  
(SOMPO CUPとしての提案)
- (5) JHA主催大会並びにHJL開催時におけるオフィシャルメディアの扱い
- (6) JHA新マークの提案
- (7) その他
  - ①「平成30・31年度公益社団法人日本ホッケー協会理事選考の方法について」
  - ②JHA主催・共催競技会のフィールド規程の変更

※理事会招集通知でご案内しました次の2件は今理事会で審議いたしません

- ①JHA役員の旅費規程
- ②新広報委員の承認

V. 報告事項

- (1) 2018卓上カレンダー発行
- (2) 男子ユニフォームについて
- (3) ホッケー用シューズのモニター依頼
- (4) 立命館ホリーズスタジアム（大阪・茨木）がJOC競技別強化センターに

指定された件

(5) その他

- ①技術委員会組織の報告
- ②「定款」、「定款施行細則」配布
- ③スポーツ庁主催「スポーツにおけるインテグリティの確保に関する緊急会合」資料配布（平成30年1月18日（木）開催）

6. スマッシュについて

（スポーツマネジメント機能シェアシステムの活用提案）

VI. 開会

- (1) 定刻、中村事務局長が開会を宣言。
- (2) 中曽根会長ご挨拶。
- (3) 中村事務局長が理事27名の内15名出席しているので本理事会は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており適法に成立した旨を告げた。
- (4) 定款第38条に基づき中曽根会長が議長に選出された。
- (5) 議事録署名人に田中誠監事、安西浩哉常務理事を、議事録作成人に織井隆司事務局員を選出した。

VII. 「審議事項」議事経過及びその結果

1. 平成30年度登録規程について

- (1) 馬場理事が配布資料に基き説明、変更点は

- ①母体チームと違う種類で出場する場合
- ②マスターズ
- ③チームスタッフ登録

また、システム修正が必要だが費用が見えていない。何百万円にはならず何十万円単位の費用になるので予め承認してもらいたいと説明。

- (2) 質疑応答と決議

特にマスターズと社会人の登録者が重複するので丁寧に説明することを話し合った上で提案は承認された。

2. 倫理規程改定について

(1) 瀧上総務委員長が配布資料に基き説明

他の規程も含めて検討する必要があるが今回は J O C の指摘する部分だけの改定にとどめる。

(2) 質疑応答と決議

特に質問はなく、提案は承認された。

3. 2018 年度 S O M P O C U P の事業計画案について

(1) 宮野広報委員長が配布資料に基き説明

①女子の日程は固まりつつある。オーストラリアからは受諾の回答を得ている。

②男子は会場を岐阜にすることで調整中。

(2) 質疑応答と決議

①男子の岐阜での開催はインターハイと重なるので今聞いた日程は難しい、  
という意見が出て強化本部が「インターハイの期間は外すか、駄目なら別の会場を探す」と回答

②収入についてさらに精査するべきという意見が出た。

③大会開催だけでなく海外での大会のテレビ放映も検討するという案も出た。

④損保ジャパンからは、いかに損保ジャパンとホッケーを露出できるかが問われているので一つのやり方として国際大会開催を計画した。

他によい提案があれば検討すると損保ジャパンからは言われているので提案をお願いしたい。

④提案は承認された。

4. F I H から要請されている 2019 年度 8 ヶ国大会開催について  
(S O M P O C U P としての提案)

(1) 宮野広報委員長が配布資料に基き説明

F I H から 2 0 1 9 年春の国際大会日本開催提案があった。条件を出したところ F I H から了解するので開催してもらいたいと回答があった。  
開催地を当たっている。期間は 5 / 1 5 ~ 6 / 中旬 (天皇即位を避ける)

8ヶ国規模の大会はシドニーオリンピック予選以外やったことがない。F I H標準でやらなければならないので東京 2020 オリンピックへのよい準備になる。

(2) 質疑応答と決議

- ①大井は2019年6月完成予定なので使えない。開催地の交渉はこれから。
- ②歳入計画が分からないので賛成しかねるという意見が出た。
- ③東京2020オリンピックテストイベントは4ヶ国大会、オリンピックの準備を考えるとF I Hの提案する8ヶ国大会を実施して経験を積む必要有。
- ④同じく東京または近県で行なうべき。
- ⑤今年度中に開催地を決める。
- ⑥窓口は近藤マネージャー。中村専務理事がバックアップする。
- ⑦東京2020オリンピックのために東京協会とも連携して実施するよう努める。
- ⑧SOMPOへの提案事業が他に考えられるなら、それに関する提案書も受け付ける。
- ⑨提案は承認された。東京協会にも連絡をする。

5. JHA主催大会並びにH J L開催時におけるオフィシャルメディアの扱い

(1) 宮野広報委員長が配布資料に基き説明

試合場でJHAのオフィシャルメディアが一般メディアと同じ扱いを受けているのが実情。JHAのオフィシャルメディアが公式ビブスを着用するようにするので各試合会場で協力してもらいたい。

(2) 質疑応答と決議

提案は承認された。

6. JHA新マークの提案

(1) 宮野広報委員長が配布資料に基き説明

現在のJHAマークに賛否両論ある。方向性を決めてもらいたい。

(2) 質疑応答と決議

2月20日までに案を出す。3月3日の理事会で決定する。使用場所についても案を出す。

7. 「平成30・31年度公益社団法人日本ホッケー協会理事選考の方法について

て」

(1) 瀧上総務委員長が配布資料に基き説明

12月の臨時総会で説明して以降新しい内容はないので審議事項ではなく報告事項として説明する。

(2) 質疑応答

①現理事も推薦が必要になる。自薦でもよい。

②ブロックは推薦者になれないので都道府県協会の推薦になるが、ブロック推薦であることを推薦書に記載あれば選考時考慮する。

8. JHA主催・共催競技会のフィールド規程の変更

(1) 真技術委員長が配布資料に基き説明

①規程にかかわらず東京2020オリンピックを考え駒沢第一球技場で日本リーグを実施することは認める。

②公認料の変更について承認いただきたい

(2) 質疑応答と決議

この件は業務執行理事会で検討されていないので審議する事は認められない。全て3月の理事会に出し直す。

VIII. 「報告事項」議事経過及びその結果

1. 2018 卓上カレンダー発行

宮野広報委員長が配布資料に基き説明した。スポンサーの方に活用いただけるよう必要な分を増刷する。

2. 男子ユニフォームについて

宮野広報委員長が配布資料に基き説明した。

3. ホッケー用シューズのモニター依頼

宮野広報委員長が配布資料に基きミズノからモニター依頼が来ていることを説明した。

4. 立命館ホリーズスタジアム（大阪・茨木）がJOC競技別強化センターに指定された件

中村事務局長が配布資料に基き説明した。

なお、立命館グラウンドの名称が「立命館O I Cフィールド」に変わる。  
(O I C＝大阪茨木キャンパス)。

5. 技術委員会組織の報告

(1) 真技術委員長が配布資料に基き説明

(2) 質疑応答と決議

①委員の任命は理事会決議なので審議事項に変更された。

②提案は承認された。

6. ジャパンホッケーリーグ 2017 シーズン表彰式

2月12日(月・祝) 14時から、於:イイノホール

9. 「みんかい」誌のホッケーと東京 2020 オリンピック応援記事掲載に協力した。

損保ジャパンスポンサー契約と抵触しないことを確認すること。

IX. SMA S H説明

トップリーグ連携機構事務局 田口事務局長、赤石さん

X. 次回平成29年度第7回理事会(臨時)は下記の通り。

日時:平成30年3月3日(土) 午後1時～

場所:東京都中央区八重洲1-7-4 矢満登ビル5F 1号室

以上をもって議事の全部の審議を終了したので、議長は午後3時55分閉会を宣した。

平成30年1月20日